



鈴鹿市立鼓ヶ浦小学校だより

鼓ヶ浦キッズ

学校教育目標：「知・徳・体 調和のとれた子どもの育成」 ～学校が楽しい、明日も来たいと思える学校～



令和 6(2024)年 6月27日 第7号

宿泊学習に行ってきました!!

先週19日(水)、20日(木)と、5・6年生合同による宿泊学習が、スズカト（旧三重県立鈴鹿青少年センター）で行われました。

1日目の午前中は、鈴鹿市考古博物館を訪れ、勾玉づくりの体験と施設内の見学をしました。子どもたちは頑張って石を削り、きれいに磨き、一人ひとり個性あふれる勾玉を作り上げました。

その後、スズカトに向かい、創作活動（焼き杉のプレートづくり）や野外炊飯、キャンプファイヤーを楽しみました。どの活動も、班で取り組むことを基本とし、お互いに協力し合って活動することができました。焼き杉のプレートづくりでは、一人ひとりが意欲的に取り組み、素敵な作品が出来上がりました。

また、カレーライスづくりでは、家庭科の授業で練習しているものの、水加減が難しかったのか、各班、それぞれ違った味のカレーが出来ました。そして、キャンプファイヤーは、レクも含めて大いに盛り上がり、楽しい時間となりました。

宿泊学習の2日目は、6時30分の起床、7時からの朝の集いでスタートしました。その後、全員で朝食を取り、班ごとにそれぞれの部屋を片付けた後、最後の活動「フィールドビンゴ」を行いました。テーマ『スズカトの自然をみつめよう』のもと、班で協力して、フィールドビンゴカードに書かれている課題（木の実やかわいい花、生き物の足跡、顔に見えるものなど）を探しました。最後に退所式を行い、2日間の宿泊学習を終えました。

2日間の宿泊学習は、6年生にとっても、5年生にとっても、初めての泊を伴う行事でした。集団生活の楽しさと難しさを学び、それぞれの学年に成長が見られた2日間となりました。しかし、改善すべき点も見られました。2学期は運動会をはじめ、5年生は社会見学、6年生は修学旅行が予定されています。それぞれの行事を通して、さらなる成長を期待しています。



勾玉づくり体験の様子



野外炊飯（カレーライス）



盛り上がったキャンプファイヤー!!



楽しかったフィールドビンゴ!!

鼓ヶ浦の海岸にウミガメがやってきました!!

鼓ヶ浦小学校では、日本の白砂青松100選にも選ばれている鼓ヶ浦海岸の清掃を地域ぐるみで行っています。また、4年生が環境教育の一環として、ウミガメネットワーク三重の米川弥寿代さんを講師にお招きして、ウミガメを通して環境保全について学ぶ出前講座を行っています。

その鼓ヶ浦海岸に、今月上旬と先週の2回、ウミガメの上陸と産卵が確認されました。ウミガメの卵はピンポン玉程の大きさで、1回の産卵で120個くらいの卵を産みます。卵は60日前後でふ化し、夜、一斉に子ガメは海へ帰っていきますが、そのうち成体になるのは5000匹に1匹と言われています。

今、ウミガメの卵がふ化し、ふ化した子ガメたちが無事に海に帰ることができるよう、ウミガメネットワーク三重のみなさんをはじめ、県や市の関係機関等が、ウミガメの卵の保護・保全の取組を始めているところではありますが、私たちにできることは何でしょうか？

まず、私たちにできることは「そっと見守る」ことです。そして、卵がふ化し、ふ化した子ガメたちが無事に海に帰ることができるよう、産卵場所を掘り返したり、SNS等で拡散したりしないように、産卵場所付近を荒らしたりしないように、気をつけなければなりません。

これから卵がふ化するまで、鼓ヶ浦小学校としてできることを考えていきたいと思います。児童のみなさん、いいアイデアがありましたら、担任の先生や校長先生・教頭先生に教えてください。



昨年度の出前講座より
ウミガメネットワーク三重の米川さん

学校設備の修理等、ありがとうございました!!

先日、おじさんセミナーの岡田さん（事務局）と澤内さん、巻さんに来校いただき、正門のシャッターのキャスターや廊下のコンセント等、壊れている箇所を直していただきました。暑い中、キャスターの交換や破損した部分の補修など、丁寧に修理をしていただきました。おかげで、正門のシャッターの開閉がスムーズにできるようになりました。

おじさんセミナーのみなさん、本当にありがとうございました。今後も、鼓ヶ浦小学校児童の安心・安全な学校生活のため、ご支援いただきますようお願いいたします。



正門のシャッターを修理していただきました。



コンセントの破損部分を直していただきました。